

平成 28 年度 第 53 回

## 風治八幡宮川渡り神幸祭写真コンテスト



### ■表彰式/入賞写真展

日 時:

平成 28 年 7 月 30 日(土)

表彰式 17:00~

写真展 16:00~20:00

場 所: 風治八幡宮  
夏越祭会場

### ■写真展/開催式典

日 時:

写 真 展

8 月 1 日(月)~19(金)

8:30~17:00

※土日閉館

開催式典

8 月 1 日(月)8:35~8:55

場 所:

田川市役所玄関ロビー

### ■主催:川渡り神幸祭写真コンテスト実行委員会

(主催団体:日本報道写真連盟、田川光影会、まつり IN 田川実行委員会)

- ### ■後援協力団体:
- 風治八幡宮奉賛会、NPO 法人風治さつきの会・風治八幡宮みこしをかつぐ会、白鳥神社神輿有志会、川渡り青年友志会、上伊田西地区獅子楽保存会、毎日新聞社、福岡県、田川市・田川市教育委員会、福岡県立大学、田川商工会議所、田川市観光協会、田川広域観光協会、田川青年会議所、田川ロータリークラブ、田川ライオスクラブ、田川銀行協会、田川信用金庫、伊田商店街振興組合

# ごあいさつ

毎年5月の第3土曜と翌日曜に開催される「風治八幡宮川渡り神幸祭」は、約450年続く福岡県の五大祭りの1つです。

お立ちの獅子舞いの後、参道をくだり万来の拍手で迎えられた大神輿は、白鳥神社の神輿、11基の山笠と合流し川へと向かいます。大神輿を先頭に緋色の鮮やかな幟山笠(のぼりやまがさ)が彦山川を渡り、川の中で若衆が山笠を揺すり氣勢をあげ、水を掛け合うシーンは祭のクライマックスです。

デジタル化により写真愛好家のすそ野は広がり、川渡り神幸祭にカメラをかかえて訪れる観光客は年々増えております。また、カメラ付き携帯電話やネットへの掲載など、写真の楽しみ方は多様化しております。

今年はフィンランドと福岡空港の間に直行便が開設され、フィンランドから神幸祭を見物に6名の方がおみえになり、「大変感銘を受けた」「楽しかった」と言われておりました。光影会では、この祭りの姿を写真という形で後世に伝えたいと願い、毎年写真コンテストを開催してまいりました。今後は海外への発信にも努めてまいりたいと思っております。

このように盛大に写真コンテストの表彰式、写真展及び写真展開催式典を催すことができますのは、ひとえに関係者の皆様のご支援のたまものです。

今後も皆様のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月30日

川渡り神幸祭写真コンテスト実行委員会

実行委員長 實 藤 清 實

平成 28 年度 第 53 回 風治八幡宮川渡り神幸祭写真コンテスト 報告

■応募総数【一般部門】158名 628枚【カレンダー/ホームページ部門】31名 203枚

■選考から表彰式までの流れ

6月5日・11日 一次審査実施

- ・川渡り神幸祭写真コンテスト事務局が一次審査を実施。書類不備や応募規定等を満たしていない作品を失格としました。

6月14日 一般部門について、毎日新聞社写真選考会が同賞候補作品を決定

- ・応募をしない事務局長が選考会に持ち込み、応募者の氏名を伏せた上で写真選考委員の二次審査を受けました。

6月15日 ホームページ部門について、まつり IN 田川実行委員会写真選考会(応募をしない各ホームページ担当者)が一般部門に準じて同賞候補作品を決定

6月11日・15日 カレンダー部門について、まつり IN 田川実行委員会カレンダー部会(応募をしない役員)が一般部門に準じて同賞候補作品を決定

6月18日 各賞候補者に写真のネガもしくはデータ提出の通知発送

7月1日 提出締め切り

7月4日～8日 三次審査実施

- ・2018 カレンダー用に印刷会社にてデータ加工等の確認を実施。
- ・印刷上使えない作品であることが判明した場合、賞の候補を取り消しますが、今回はありませんでした。

7月10日 川渡り神幸祭写真コンテスト実行委員会で賞を確定

7月11日 各入賞者に表彰式と写真展の案内を発送

7月30日 夏越祭で表彰式と入賞写真展(風治八幡宮にて)

■ホームページでの発表から川渡り神幸祭写真展までの流れ

8月1日以降順次ホームページで発表(風治八幡宮/風治八幡宮みこしをかつぐ会/川渡り青年友志会/上伊田西地区獅子楽保存会などに提供)

8月1日～19日 写真展と開催式典(田川市役所にて)

9月9日 2017 カレンダー発売開始、作品掲載

9月末 表彰式出席者へ副賞送付、欠席者へ表彰状/副賞送付

平成 29 年 5 月 20 日・21 日 入賞写真展予定(風治八幡宮川渡り神幸祭おまつり広場)